ver.1.0　2026 年 10 月 28 日作成

新潟県立がんセンター新潟病院　オプトアウト書式

①研究課題名	当院における高齢者膵癌症例の現状と治療介入の有効性
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2014 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに、当院で膵癌と診断され、治療（手術、抗がん剤治療、放射線治療など）または症状を和らげる治療を受けられた患者さん（約 900 名）が対象です。	
③概要	
この研究では、当院で膵癌の診療を受けた患者さんのカルテ（診療録）に記録されている情報を使わせていただきます。この研究のために新たな検査を行ったり、来院していただいたり、費用をご負担いただくことは一切ありません。 ご自身の情報をこの研究に使ってほしくない方は、下記「⑩お問い合わせ先」までご連絡ください。お申し出いただいた方の情報は研究に使用いたしません。お断りになっても、今後の診療で不利益を受けることは一切ありません。 ただし、お申し出の時点で既に学会発表などにより結果が公表されている場合には、その結果から情報を取り除くことができませんので、ご了承ください。	
④研究の目的・意義	膵癌は年齢が高くなるほどかかりやすい病気で、当院でも 80 歳以上の患者さんが年々増えています。しかし、80 歳以上の方にどのような検査や治療が適しているかは、まだ十分にわかっていません。 この研究では、当院で診療を受けた患者さんを年齢により 3 つのグループ（74 歳以下、75～79 歳、80 歳以上）に分け、検査や治療の内容を比べるとともに、がんに対する治療（手術、抗がん剤治療、放射線治療）を受けた場合と、症状を和らげる治療（BSC※）のみを受けた場合の生存期間を比べます。 この研究により、ご高齢の膵癌患者さんにとってより適した治療を選ぶための参考となる情報が得られることが期待されます。 ※BSC（ベスト・サポーティブ・ケア）：がんそのものに対する治療は行わず、痛みなどの症状を和らげる治療を中心に行うこと。
⑤研究期間	実施許可日から 2026 年 11 月 30 日まで
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテから下記⑦の情報を集め、年齢のグループごとに比較・解析します。 集めた情報は、お名前・ご住所・カルテ番号など、患者さん個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号に置き換えて取り扱います。 研究の結果は、学会（第 34 回 日本消化器関連学会週間：JDDW2026）や医学雑誌などで発表する予定ですが、患者さん個人が特定される形で公表されることはありません。 情報を他の医療機関や海外へ提供することはありません。
⑦利用または提供する情報の項目	診断時の年齢、性別、全身状態（PS※1）、体重減少の有無、血液検査の結果（腫瘍マーカーCA19-9、mGPS※2、NLR※3 など）、画像検査（CT・MRI など）の結果、がんの場所と進み具合、診断の方法（内視鏡を用いた組織検査など）、治療の内容（手術、抗がん剤治療、放射線治療、症状を和らげる治療）、生存期間などの診療記録 ※1 PS：日常生活をどの程度ご自分で送ることができるかを 0～4 の 5 段階で表したもの ※2 mGPS：血液検査（CRP とアルブミン）から求める、体の炎症と栄養の状態を表す指標 ※3 NLR：血液中の好中球とリンパ球（いずれも白血球の一種）の比率

⑧研究組織および利用する者の共同研究機関	新潟県立がんセンター新潟病院のみで利用いたします（他の機関との共同研究ではありません）。 新潟県立がんセンター新潟病院　消化器内科　佐野知江（研究責任者） 研究分担者：塩路和彦、荒生祥尚、今井径卓、小林正明
⑨試料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立がんセンター新潟病院　消化器内科　部長　佐野知江
⑩お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします. ご希望があれば､他の患者さんの個人情報や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書などの資料を閲覧していただくことができます。 所属：新潟県立がんセンター新潟病院　消化器内科 氏名：佐野知江 〒951-8566　新潟県新潟市中央区川岸町２丁目 15 番地３ TEL：025-266-5111（代表） E-mail：
⑪研究代表者	施設名：新潟県立がんセンター新潟病院　消化器内科 氏名　：佐野知江 連絡先：025-266-5111（代表）